

20歳! おめでとうございます



館 報
おかだ

令和5年1月1日現在
世帯数 : 3,301 戸
男 : 3,605 人
女 : 3,730 人
計 : 7,335 人

1月8日(日) 松本市では今年度20歳を迎えた皆さんを対象に「ハタチの記念式典」が行われました。それに伴い岡田地区では例年通り午前中に式典及び集合写真の撮影を行いました。

当日は雲ひとつ無い好天に恵まれ、20歳の門出にふさわしい日となりました。ほとんどの皆さんが岡田保育園から岡田小学校のお仲間。懐かしい会話は尽きる事ありません。27人の皆さんに参加していただき、華やかで、大人への自覚で引き締まった写真撮影ができました。ご本人だけではなくご家族の皆様にとっても嬉しい1日となったことでしょう。

昨年末に20歳の皆様にお願いしましたアンケートの結果は下記にまとめてあります。

どうか今日の気持ち大切に、素敵な大人になってください。

そしてご家族、ふるさと、日本を支えてくださる事を願っています。

(取材・文 三枝委員)

① 岡田の好きなところはどこですか。

自然豊かなところ／水が綺麗／空気がおいしい／自然があつて住みやすい／自然がありつつ生活にも困らないような適度な充実度／温かい雰囲気／美味しい空気と季節の香り／雰囲気／人があたたかいところ／人が温かいところ／人柄がとても良い／住心地／空気／あたたかいところ／のんびりしたところ／実家がある／安曇野にも上田にも行きやすい／病院が近い／神社があること

② 今一番したいことはなんですか。

旅行／海外旅行／ディズニーに行きたい／親孝行／勉強／小・中・高の間と再会したい／地元の人達とゆっくり遊びたい／筋肉つきたい／アカペラ／ポケモン／楽しいことならなんでもしたい

③ あなたの夢は何ですか。

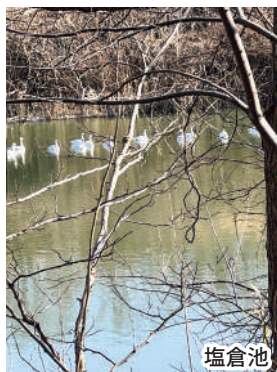
教師／教員になること／看護師／サッカー選手／すてきな保育士になること／音楽療法士として教科書に載る／世界3周くらいする／たくさん食べて喜ぶこと／家族を持つ／自分なりの幸せを見つけること／人と人を繋ぐ架け橋になれるようなこと／もしくは人を楽しませることができること／不労所得が永遠に手に入る生活

20歳の皆さんが生まれたのはこんな時代 (2002年4月～2003年3月の出来事)

☆FIFAワールドカップ日韓大会開催
☆多摩川にアゴヒゲアザラシの「タマちゃん」出現
☆小泉首相北朝鮮訪問、拉致被害者5人帰国
☆ノーベル賞：物理学賞・小柴昌俊、化学賞・田中耕一

☆ヒット曲：浜崎あゆみ『H』、平井堅『大きな古時計』
島谷ひとみ『亜麻色の髪の乙女』etc.
☆ベストセラー：ハリー・ポッターシリーズ
☆新型肺炎SARS中国などで流行

白鳥がきてるー！うそー、と言いつつも信じがたい光景が。塩倉池へ20羽近く飛来し泳いで



塩倉池



馬による田起こし

(塩倉 柳澤宗義)

いるではありませんか。見ると池の北側の隅の方でひっそりと泳いでいる。安曇野へ白鳥が飛来し有名になっているのは知っているものの、塩倉池へも来てくれるんですねと感謝と感激し、白鳥さんにお礼言いました。その後何度か池へ足を運びましたがその1回のみでした。毎年池で観察している方に話を聞くと、令和3年は3回飛来し、4年は1回のみで、自分はラッキーだったようです。

似た白鷺が1羽居り、優雅な泳ぎとは違い近所さんの屋根に飛んで行つては瓦に止まり、周りを眺めていました。白鷺も私が子供の頃は見なかったけれども、この頃当たり前になり、環境が変わり住み着くようで、白鳥も塩倉池へ住み着いてくれればと思いましたが、居着いてもらうには、まず餌を定期的にまく事をしないとだめなようです。

白鳥がいると噂が立つと見物人が増え、車の駐車の問題、住民とのトラブルが起き問題発生、田舎にはそつと静かに来てくれるのがいいのかなと思えました。

塩倉の周りでは馬による田起こしの風景など昔にタイムスリップした光景が時々見られます。

コロナに負けない体力づくりの為に塩倉を散歩してみませんか？白鳥に会えるかも知れませんよ。



御神木伐採～引き渡し



三九郎の御神木切りが12月3日に、岡田財産区の役員によって行われました。ここ2年でできなかった三九郎がやっと開催されます。場所は芥子坊主の展望台のすぐ南斜面、樹齢15年ほどのアカマツが高さ10mほどに育っています。松枯れはここも例外でなく、3割ほどの立木が枯れていました。岡田地区では場所によっては壊滅状態のマツ林ですが、ここでは樹が若いせいかその程度ですんでいます。岡田地区子ども会育成会ではアカマツの植林も行っていますが、今後御神木に適するマツが得られなくなると心配されています。

木の伐採はなかなか難儀しました。大きくても直径20cm程度ですから切断は難なくできます。しかしなかなか思った方向へ倒れてくれません。伐採され傾きだしても、周囲の木に絡み倒れてきません。そんな時には株元を持ち上げ引き出します。若い木とはいえ重く二人がかりでもなかなか動きませんでした。

倒された木は先端から5mを測り再度そこで切断します。上から放射状の枝を3段残し、その下の枝をナタなどで切り落とすと御神木ができあがります。切り落とした枝は、三九郎のあんこ用になります。途中一回の休憩をはさみ、73本の御神木を切り、マツ林外の広い場所まで運び終えたころには昼になっていました。



御神木を運ぶ松岡町会の子ども

翌日、12月4日には、各町会への御神木引き渡しが行われました。役員だけが受け取りに来る町会、子どもと一緒に受け取りに来る町会など、受け取り方法は様々でしたが、立派な御神木を各町会に無事引き渡すことが出来ました。久し振りに行われる三九郎…今年こそは良い年となりますように!!

(岡田財産区議員 尾曾清博)

サッカーW杯が盛り上がりつつある。日本代表の活躍で私のようなにわかファン含め多くの国民が深夜早朝の放映もなんのその、テレビ画面釘付けになつてゐる事だろう。勿論メッシ、エムバペ等世界のスーパースターの競演も素晴らしい。少年サッカーで練習に励む息子に観せるべく録画もしている。世界の頂点を決める瞬間が近づき、いよいよ楽しいサッカー観戦だが、一方で我々日本人にとって

生活雑記

『サッカー観戦に思う』

東 区 諸 限 剛



少しずつ関心が薄れつつあるように感じる「戦い」がある。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の事だが、この戦争も12月24日で開始後10カ月を迎え、先が見えない。戦地から遠く離れた我々日本人一人一人に出来ることは少ないかもしれないが、当り前のように享受している平和に感謝し、一刻も早く通常の世界に戻ってもらいたいという願いも込めて、この「戦い」から目を背けぬようにしたい。

(2022年12月12日記)

て続く不安はいかばかりか。現在併存する輝かしいスポーツの祭典と、悲惨極まりない戦争とのギャップに呆然とするほかない。戦地から遠く離れた我々日本人一人一人に出来ることは少ないかもしれないが、当り前のように享受している平和に感謝し、一刻も早く通常の世界に戻ってもらいたいという願いも込めて、この「戦い」から目を背けぬようにしたい。